

## 全校朝会の話 3月10日(月)

SDGsという言葉を知っていますか。これは、全世界の人が安定して地球で暮らしているように様々な問題を解決するための目標で、17の目標のことを言います。その中に一つに「飢餓をゼロに」という目標があります。飢餓というのは、食べ物が不足して食べるものないが状態です。この世界では、4人に1人が深刻な栄養不足状態で、食べ物が食べられないのです。原因は、地震や津波、洪水、干ばつ（雨が降らずに作物ができないこと）などがあります。また、世界の中では、戦争をしているところもあります。食べ物どころではありません。

皆さんは今日食べるものがなくて苦勞したことはないと思います。しかし、世界では、食べ物がなくて困っている人が実際にいるのです。私たちの学校では、給食が出ます。当たり前ですが、それが当たり前ではないのです。食べたくても食べられない人がいることを知ってもらいたいのです。石東小では、給食の牛乳が一日何本残っているか知っていますか？全校児童403名いますが、アレルギーで牛乳を飲めない子を除いて、牛乳は50本近く飲むことがなく、残っているのです。このことをどう思いますか？

せっかくの牛乳が飲まれることがなく、捨ててしまっているのです。皆さんは、どうしたらよいのでしょうか。よく考えてみてください。

1月にユニセフ募金もありました。皆さんの募金が世界で困っている人に少しでも役立ってくれることを願っています。